



TOCOM

2024

7月号

トヨーサークル

手をつないで明日をつくろう

No. 518

トヨテック大分 “ 創立20周年 ”

株式会社トヨテック大分 常務取締役

信長 祐児



2024年7月1日に、トヨーサークルの1社である、株式会社トヨテック大分が設立20周年を迎える事ができました。20年の月日を重ねる事ができたのは、ひとえに、お客様、仕入先様、地域の皆様のご指導、ご支援及びトヨーサークルの仲間、社員の皆様のご尽力のお陰です。大変感謝を致します。設立時期の2004年は「失われた30年」といわれる、経済が低迷する真っ只中での設立となりました。当初はデジタルカメラの精密プラスチック成形を中心に生産活動を開始しました。しかしながら、順風満帆な船出ではなく、荒波に向かうスタートでした。1999年には世界に先駆けて国内でカメラ付き携帯電話が発売され、2007年にはiPhoneが発表、2008年には国内で販売開始となりました。この事で、デジタルカメラ市場の縮小、デジタルカメラの存亡が囁かれていました。結果は既知のとおおり、レンズユニットの小型化、高性能化でデジタルカメラはスマートフォンの機能のひとつとなりました。トヨテック大分は設立当初よりデジタルカメラを将来無くなるリスクのある商品と捉えて、“カメラ市場にはリスクあり”という方針で、九州地区を中心に、地道な営業活動を進めてきたことにより自動車市場、産業機器市場に受注品目を切り替えることができました。現在も日々向かい風の中ではありますが、リスクへ備える事で、20周年に繋がったと考えます。

企業生存率のデータで、設立10年で6.3%、20年で0.4%が存続をすることができているというデータがあります。非常に厳しいデータではありますが、事業を継続する難しさが実感できる数字だと思います。企業生存率を高めるポイントが5つあるといわれています。

“余計なコストを削減する・リスクへの備え・常に革新を続ける・社会に貢献出来る事業・事業承継(世代交代)”これらのことをしっかり考えながら行動することが重要だと思います。トヨーサークルは創業80周年を迎えています。また、サークル各社の社歴も長く、トヨテック大分は国内では一番若い会社となりますが、これから多くの人に支えて頂きながら、社員の皆様と事業継続を果たしていきます。

梅雨も明けて本格的に暑い日が続きます。体調管理には十分に気を使い、健康で楽しい毎日を過ごせるようにしていきましょう。

TOCOM

TOYO CIRCLE COMMUNITY MANAGEMENT

トーヨーサークル

シナノカメラ工業株式会社 創立50周年を迎えて

代表取締役社長
河西 秀一



50th ANNIVERSARY

シナノカメラ工業株式会社の「創立50周年記念式典」が6月29日(土)、長野県松本市内のアルピコプラザホテルで開催され、来賓と社員58名が出席しました。

式典では、(株)トヨテック小野会長と小野社長から祝辞が述べられ、50周年記念ビデオの上映や、地元SBC放送の番組でパーソナリティを務める吉本興業「あなたの街に住みますプロジェクト」の長野県担当芸人「こてつ」のステージがあり、50年の節目を祝いました。



小野会長と小野社長を囲んで記念撮影



河西社長より開会の挨拶



芸人「こてつ」のステージに
河西社長も参加

今年も半分が過ぎ、蝉の鳴き声が響きわたる季節となりました。時が過ぎるのが年々早く感じます。

シナノカメラ工業は1974年5月8日に設立されましたが、その前身は1970年に創業した河西光学です。自宅の向かいのプレハブ工場でガタンゴトンと機械が動いて、有機溶剤が強い匂いを発する中、家族や親戚でレンズの研磨作業を行っていた光景が今も鮮明に記憶に残っています。その頃からトヨテックとのお付き合いが始まり、祖父の代からの半世紀以上にわたる絆に深い感謝を改めて申し上げます。

この50年間、カメラ、携帯電話液晶基板、カーナビ等各種基板、様々な小型精密機器の受託製造と時代の変化に合わせて進化を遂げてきました。今後も多くの困難が予想されますが、「難有り有難し」の精神で、物づくりに励んでまいります。企業集団トーヨーサークルの一員として、引き続きよろしく願い申し上げます。



1974年 設立当時



1977年 新社屋が完成

その後、事業拡大とともに3棟増築し現在に至る

VOICE

— 自分らしい働き方を探す —

若手の声

加藤
隆寛さん

ユニット技術部 生産技術グループ



加藤さんは静岡大学卒業後、2018年4月に入社。ユニットの試作から量産立上げ、生産管理までの一連の業務に携わっています。

品質・コスト・効率性を追求し、最善の生産工程を目指す

現在の仕事内容

レンズユニットの製品化と日本・中国の組立技術サポートをしています。自社設計、請負設計のレンズユニットを実際に試作で組立、評価し、量産に向けて工程を作り上げます。品質、コスト、効率性に対してどのような作業工程・環境にすることで達成できるかを検討しています。

スキルアップについて

試作製作だけでなく製造の仕事を経験できたことで「納期」に対する意識が身につきました。生産現場は納期が絶対です。それに合わせた最善の生産工程の検討や他部署との調

整などを担当させてもらったことは、今の自分の強味になっています。

今後の目標

昨年、3カ月間中国工場に出張し現場を知ると同時に、自分のテクニカルスキルの不足を痛感しました。課題解決には製品や生産設備への深い知識と洞察力が必要です。量産化に向けた大小様々な課題に向き合い、技術的な解決ができるようスキルを身に着けたいです。将来的には、組立に関する新技術の導入や、関係部署へ提案・調整を行いながらQCDの要素を満たした生産工程を築き上げられるようなエンジニアを目指していきます。



趣味

- ・エレキギター
週1回レッスンに通っています。
- ・ランニング
- ・ラーメン屋巡り

出展レポート

ものづくり博
2024 in 東三河

営業部 沖根ジョイスアン

6月14日(金)～15日(土)に豊橋市総合体育館で開催された「ものづくり博2024in東三河」(主催:東三河広域連合会)に出展しました。今年は体験をテーマにさまざまな先端技術が紹介され、コロナの制限が解除されたこともあり、2日間の合計来場者数が約1万5千人と大盛況で終えることができました。トヨテックのブースでは、マイクロメーターを使った測定体験や自社製品に関する簡単なクイズを用意しました。年齢問わず多くの方に楽しんで頂き、地元の方々にトヨテックを知っていただく良い機会となりました。



NEWS

豊橋技術科学大学ロボコン同好会

NHK学生ロボコン3連覇 8月の世界大会でも連覇に挑戦！

株式会社トヨテックは、地元、愛知県豊橋市にある豊橋技術科学大学ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」にゴールドスポンサーとして協賛しています。

「とよはし☆ロボコンズ」は、6月9日(日)に開催されたNHK学生ロボコン2024で優勝し、大会史上初の3連覇を達成しました。そして日本代表として、8月25日(日)にベトナム・クワンニンで開催される「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」に出場し、世界大会2連覇を目指します。



トヨテック紹介動画は
こちらから



ロボコン同好会の皆さんが、トヨテックの紹介動画を作成してくれました。トヨテックの魅力を詰め込んだ30秒の動画、ぜひご覧ください！



ロボコン同好会代表の宮下さん(左)と運営・渉外担当の辻井さん(右)



3月14(木)に豊橋技術科学大学で、トヨテックとロボコン同好会の技術交流会が開催されました。当社からは位高常務執行役と開発部の若手社員3名が参加。互いの活動内容の紹介や、ロボットの実演披露などが行われました。



4年ぶりに開催決定！

トーヨーサークル
豊川地区

納涼会

2024

軽食・デザートを用意します！

他部署の人と一緒に盛り上がりましょう！

抽選会もあります♪

8月9日 金

16:00 ~ 17:30

※17:00 中締め、自由解散

場所

光学技術センター3階 食堂

おくやみ申し上げます

発行所
トーヨーサークル 人財開発部・TOCOM事務局
豊川市西豊町二丁目35番地
☎〈0533〉85-1110 (代)